

令和3年度下水道事業の経営方針及び予算の概要

1 事業の経営方針

下水道事業を長期的な視点で見ると、人口減少等による使用料収入の減少並びに耐用年数を迎える下水道施設が増加することによる施設の改築更新及び維持管理に多額の費用が見込まれます。そのような環境下においても、住民生活に必要な不可欠である下水道事業を将来にわたり安定してサービス提供していくことが求められています。

小金井市下水道事業では、経営状況や資産の状況を的確に把握するため、令和2年度から地方公営企業法の財務規定を適用しました。

市民が安心して快適な生活を営めるよう、良好な生活環境の維持及び公共用水域の水質保全のため、より一層の経営の健全化に努めます。

2 予算の概要

(1) 収益的収支の状況

収益的収支の予算には、当該年度の企業の経営活動に伴い発生すると予定される全ての収益及びそれに対応する費用を計上しています。

(単位：千円)

収 入				支 出			
区 分	令和3年度	令和2年度	増減額	区 分	令和3年度	令和2年度	増減額
営業収益	1,618,360	1,608,046	10,314	営業費用	1,998,410	1,924,066	74,344
下水道使用料	1,085,348	1,087,328	△ 1,980	管きよ費	215,711	172,632	43,079
雨水処理負担金	532,579	520,105	12,474	流域下水道管理費	721,263	708,251	13,012
その他営業収益	433	613	△ 180	業務費	192,164	177,080	15,084
営業外収益	473,713	477,031	△ 3,318	総係費	82,344	94,724	△ 12,380
他会計補助金	23,748	22,407	1,341	減価償却費	786,928	771,379	15,549
補助金	315	17,850	△ 17,535	営業外費用	40,044	40,962	△ 918
長期前受金戻入	449,521	436,643	12,878	支払利息及び企業債取扱諸費	22,990	25,459	△ 2,469
雑収益	129	131	△ 2	消費税及び地方消費税	17,054	15,503	1,551
				特別損失	0	12,665	△ 12,665
				その他特別損失	0	12,665	△ 12,665
				予備費	30,000	10,000	20,000
				予備費	30,000	10,000	20,000
合 計	2,092,073	2,085,077	6,996	合 計	2,068,454	1,987,693	80,761

(2) 資本的収支の状況

資本的収支の予算には、諸施設の整備、拡充等の建設改良費及びこれに要する資金の企業債収入、その元金償還等を計上しています。

(単位：千円)

収 入				支 出			
区 分	令和3年度	令和2年度	増減額	区 分	令和3年度	令和2年度	増減額
企業債	144,000	68,000	76,000	建設改良費	319,192	247,314	71,878
下水道事業債	144,000	68,000	76,000	管きよ建設改良費	230,776	209,568	21,208
他会計負担金	1,711	1,548	163	流域下水道建設費	88,416	37,746	50,670
他会計負担金	1,711	1,548	163	企業債償還金	87,729	92,002	△ 4,273
				建設企業債元金償還金	87,729	92,002	△ 4,273
				予備費	10,000	10,000	0
				予備費	10,000	10,000	0
合 計	145,711	69,548	76,163	合 計	416,921	349,316	67,605

※ 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額2億7,121万円は、当年度分損益勘定留保資金（収益的収支のうち現金支出を要しない減価償却費等から現金収入を伴わない長期前受金戻入等を差し引いた額）で、全額補填します。